

～夢と希望をもち 未来にはばたく つばさっ子～



つばさ

7月—2号 No. 5
令和7年7月18日
さいたま市立つばさ小学校

夏休み、読書など様々な体験から学ぶ

校長 浅野 博一

令和7年度第1学期の教育活動が本日をもって終了します。お子様は、様々な“体験”を通して、この1学期、自身を大きく成長させて来ました。

【体験】…怒ったり、泣いたり、共に喜んだり、笑ったり…体験から学び得ることは、大きな財産となることでしょう。

AIは、“学習”を通して、発展して来ました。私たち人間は、“りんご”を思い浮かべると、そのみずみずしさや、食感など、様々な事柄を自身の体験 1年生 トウモロコシの皮むき体験を想起して、そのリンゴの世界を広げることができます。

一方、AIは、膨大な言語情報から情報を処理して、“りんご”を多角的に詳細に解説することはできても、体験レベルでの解説は困難でした。ただし、現在、AIは、膨大な“体験”を通して、情報を集め、学ぶように進化しているといえます。四足歩行ロボットなどは、仰向けで倒れたまま、四本足を様々に動かし続け、時に身をよじり、時に四足で立ち上がりかけて転び…様々な試行を繰り返し体験して、その体験から四足歩行を学び、「四足歩行」を獲得していくようになりました。—こうした“体験”から学んだロボットは、突然、不意に外力が加えられて、倒されても、それまでの「失敗の体験」から得られたデータを基に、再び、立ち上がれるのです。

明日からの夏休み、普段の学校生活からは得られない体験を通して、世界を広げてほしいと思います。特段、大人たちが違う世界を用意する必要もないことでしょう。子どもは自然と学んでいくものです。

私は、小学生から大学を卒業するまで、家族旅行は一度も経験したことはありません。洋服の仕立て屋で、私が幼少のころは、1枚の布からお客さんのスーツができていくのを覚えていますが、小学生のころは、その仕事もなく、洋服の直しや数物を両親が夜遅くまで仕事をしていたのを覚えています。

…小学6年生の夏。塾などの習い事も一切なかった私は、クーラーがなくても家で一番涼しい場所、ベランダ前の部屋で風をいっぱい全身で感じながら、青空を雲が流れていく様子をぼんやり眺めながら、“夏”を満喫していました。

その時です。「風は、気持ちいいなあ！風が無かったら、大変だなあ…。あれっ！、どうして風はふくのかな？どうやって風はふくのだろう？」と疑問がわいてきました。

観察や実験で謎を解く方法も考えられず、図書館へ行き、気象の本を集めて読み比べていきました。小学生には難しい内容もありましたが、なんとかイメージがわきました。

夏休み、普段、なかなかじっくり取り組めない読書の世界に、是非とも、足を踏み入れ、本を大好きになってほしいと思います。

7月3日、世界各国から、日本の教育を視察するため、つばさ小学校を訪問されました。歓迎セレモニーの待ち時間が急に発生したので、急遽、地球儀を体育館へ運び、【この宇宙に、地球という星があり、私たちは生まれてきたこと】【今、世界で起きている紛争のこと】などを子どもたちにお話しました。

つばさの子どもたちには、奇跡的にもこの世に生を受けた喜びを実感し、この世界の素晴らしさに大いに感動して、一度きりの人生を豊かに幸せなものとしてほしいと、私たち教職員は願っています。



【夏休みの課題】



本校、ホームページの新着情報「令和7年度夏休みの課題」をクリックもしくは左のQRコードより詳細をご確認ください。

おめでとうございます

第53回日進七夕まつり装飾コンクール
【行燈絵画最優秀賞】

七夕かざりデザイン画全校選出決定

つばさ小学校の様子

＜JCI アカデミーinSAITAMA 学校訪問プログラム＞

7月3日（木）に諸外国の青年会議所リーダーがつばさ小学校の様子を視察しました。3校時に歓迎セレモニーとして、吹奏楽部の演奏のもと全校児童が校歌を披露しました。また、児童会長がつばさ小学校の目標などを英語で紹介し、歓迎のスピーチを見事に行い、大きな拍手がわきました。その後は、授業や給食、清掃の様子を参観して頂き、児童にとっては、新たな発見や刺激を得るとともに、生きた英語に触れたことで英語への学習意欲の向上につながったことでしょう。

【個人面談ありがとうございました】

7月7日（月）から14日（月）に実施いたしました、個人面談へのご協力ありがとうございました。学校として、お子様の学習や生活の様子について保護者の皆様に直接お伝えすることのできる貴重な機会となりました。

【子どもや保護者の電話相談】

24時間子供 SOS ダイヤル
0120-0-78310
(なやみいおう)

【不審者はすぐ警察へ電話を】

大宮西警察署 625-0110